丹後中央病院

京都府京丹後市峰山町杉谷１５８－１

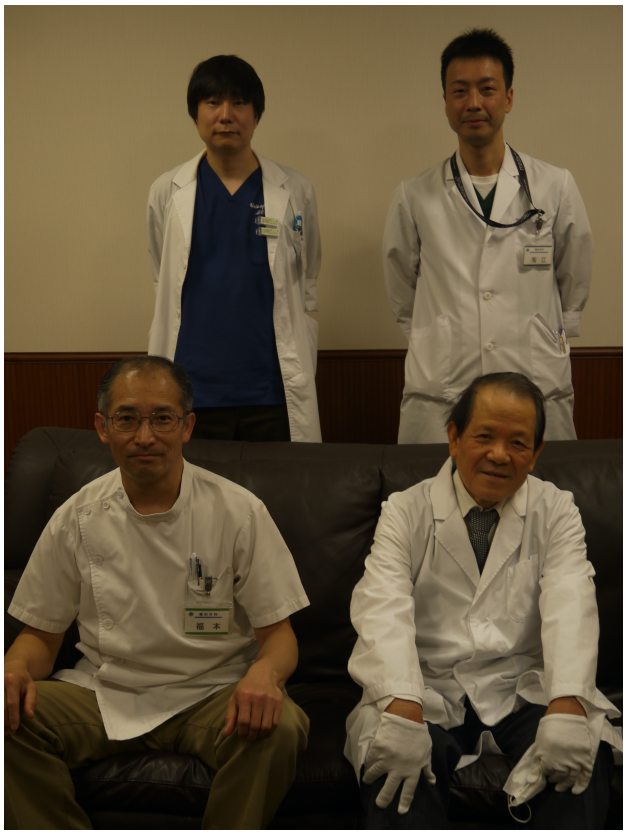
キーワード：脊椎　人工関節　手外科　マイクロサージャリー　リハビリテーション

２次救急病院

スタッフ

西嶋直城（S45 卒）　福本彰（H1 卒）　淘江宏文（H19 卒）　里見健太朗（H29 卒）

その他非常勤医師



専門医、指導医の有無

日本整形外科学会専門医・指導医、

日本手外科学会専門医、

日本脊椎脊髄病学会専門医・指導医、

日本リハビリテーション医学会専門医、

日本リウマチ学会専門医

施設認定

日本整形外科学会認定研修施設、

日本手外科学会専門認定研修施設、

日本リウマチ学会教育施設

日本リハビリテーション医学会認定研修施設

手術内容

2020 年手術件数　約 650 件

6 割程度が外傷（切断指含む）、人工関節（年間 70 件程度）、脊椎（年間 100 件程度）、関節鏡手術、手外科手術（年間１２０件程度）など

特徴：

京都北部の病院です。京都市内からは京都縦貫道で２時間程度の距離です。都市部から離れたのんびりした地域ですが、積極的に整形外科診療をしているため、地域の症例が集まります。京都府以外に兵庫県北部在住の患者さんもいらっしゃいます。地域唯一の回復期リハビ

リテーション病棟（約 100 床）があるため、同一施設で継続した診療が可能です。コメディカルスタッフの協力体制が充実しており、医療に集中して勤務できます。また、自己研磨含め学会出張やセミナー出席も病院業務への影響がない限りは、制限ありません。住まいは、病院の近くに住みやすい官舎があります。
正直かなり忙しい病院ですが、職員のフットワークは軽く、手術に関する設備はほぼ揃っています（４K 関節鏡システム、手術用顕微鏡、C-arm、脊椎用手術台、創外固定など）。総合的な整形外科医としても活躍できますし、各学会認定の研修施設であり、サブスペシャリティを高める経験が積めます。